



古布でミニかぶと
づくり体験作品



過去の端午飾り（まなび館）



古布でミニかぶと
づくり体験の様子



5月13日まで大殿大路周辺で「端午のぼろぼろ」を開催、端午の節句にちなんだ飾りでまちが彩られます。

端午 de さんぽ

伝承センター会場では武者人形やこいのぼりを展示し、「ミニかぶと」づくりも体験できます。（上記写真ご参照）

○古布でミニかぶとづくり体験

ノリとアイロンを使ってどなたでも簡単に作れます！

日時：4月29日（土）10時～12時、
13時～15時の間に随時体験可

定員：午前・午後とも10名程度（先着順）

体験料：300円

古地図で辿るふるさと山口

まなび館2階には山口の古地図を常設展示しており、帰省された方が懐かしむ姿もみられます。

いまの山口と比べつつ古地図を見ると、道や施設・地名の移り変わり、変わらない部分など、様々な発見があります。

山口中心市街地は大内氏時代からの町割りが残るといわれ、古地図でまちあるきもできます。「伝承センター通信」では今年度毎号見開きページに、大内時代から江戸時代、幕末、明治・大正・昭和まで、山口の古地図の一部を掲載する予定です。

まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

大内文化街道まちなみ協議会の活動

一昨年にとまとめた「まちづくり構想」や、昨年末の現地確認、ワーキングに基づく思いの詰まった意見集約を基に整備内容の検討が進んでいます。

一の坂川の伊勢橋から木町橋までの両岸道の整備については、河川管理道としての制約が種々あるなか、下流域との連続性も考慮しつつ歩いて楽しい道づくりを目指します。

一の坂川につながる①石原小路～築山小路、②飯田町については、一の川沿い道路の色調に合わせ、生活道路としての機能性を損なうことなく視覚的に歩行者ゾーンを確保するデザインを計画しています。新年度を迎え、さらに多くの方のご意見をお待ちしています。



⑩龍福寺

もとは白石にあり陶晴賢の乱で焼失。毛利隆元が大内義隆の菩提を弔うため、大内氏館跡に再興したと伝えられます。

⑪円政寺

鎌倉時代すでに存在した寺院で、その金鼓に「山口」という地名の最古例がみられます。江戸時代萩に移りました。町名として残る付近が跡地と思われる。

⑫大市町

16世紀初め頃に始まる市夷社があったといわれ、古くから中心的な町場だったようです。大内時代は中市町・米屋町にかけて「大町」と呼ばれ、石州街道沿いに有力町衆が軒をならべました。

⑬中市町

間口が狭く奥行きが長い地割は中世に遡る可能性もあり、かつて奥行きが150mばかりあったという染物店も。北にのびる今小路は大内盛見の誕生地といわれます。

⑭晦日市

晦日（月末）に市が立った所で、江戸時代米屋町と呼ばれるようになりました。

⑮十日市

道場門前町の古称。大内弘世創建の本園寺があり、その付近に大道寺があったともいわれます。

⑯善福寺

道場門前町の町名の由来となった時宗の大寺。今八幡宮後方から現法界寺付近を経てこの地へ移ってきたと考えられます。

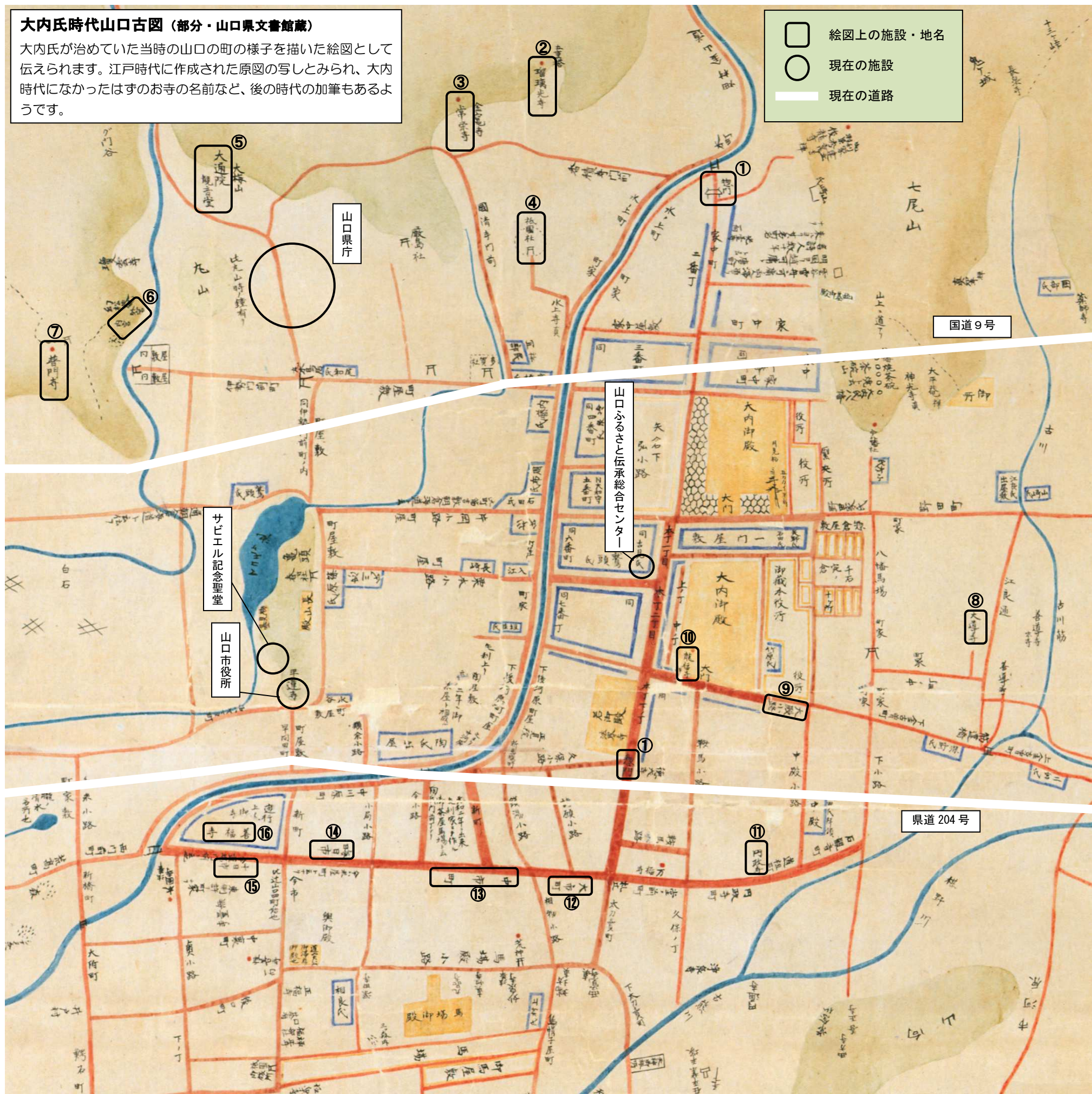
西の京 ～風水のまちづくり～

山口古図に記載された添書により、大内弘世が1360年山口のまちづくりを行ったといわれます。

「山口は四神相応にかなった地で、都の古例に倣い、法華経を東西南北中央に埋めた。中央は札ノ辻に、東は西法寺（現善生寺）の上方にある向山の山頂、西は鳳翽山の中腹、北は七尾山、南は姫山に埋めた」

山並みを背にして南に開け、前面に河川を臨み、四神獣（玄武・青龍・朱雀・白虎）によって四方を守られた、風水にかなった地・山口に大内氏は館をおきました。

大内氏時代山口古図（部分・山口県文書館蔵）
大内氏が治めていた当時の山口の町の様子を描いた絵図として伝えられます。江戸時代に作成された原図の写しとみられ、大内時代になかったはずのお寺の名前など、後の時代の加筆もあるようです。



①惣門

竪小路の二箇所、木町橋の南側と、久保小路との交差点に記されています。この間は大内家当主が住む大内館を中心とした武家地で、北側は町のはずれ、南側は町方との境界に設け、往來を制限したものとされます。

②瑠璃光寺

陶弘房の菩提寺で、元禄3年(1690)仁保からこの地に移されました。もとは大内義弘の菩提寺香積寺があった地で、五重塔はその遺構。香積寺仏殿は毛利氏によって移築され、現在の広島市不動院金堂(国宝)と考えられています。

③常栄寺

毛利隆元の菩提寺で、毛利氏の防長入国(関ヶ原後)に伴いこの地に移転、幕末宮野へ移りました。もとは大内盛見の菩提寺国清寺があった地で、明治には毛利元就の菩提寺洞春寺が移ってきました。

④祇園社

一の坂川の木町橋から下流右岸一帯にかつてエノキの森があり、そこが祇園社の古跡と伝えられます。明治の神仏分離令により「祇園社」は「八坂神社」に改められました。

⑤大通院 観音堂

大内持盛の菩提寺観音寺があった地で、毛利氏の防長入国後、毛利頼元の菩提寺大通院が移されました。大通院は維新期に廃寺に、観音堂は大正4年洞春寺境内に移され現存しています。

⑥内宮 外宮(山口大神宮)

鴻ノ峰の東麓に鎮座する山口大神宮は、大内義興が永正17年(1520)伊勢から神霊を勧請したものです。

⑦普門寺

大内弘直菩提寺。大内教弘が龍福寺として再建。陶晴賢の乱で焼失、寺号を大内氏館跡へ移した後、普門寺として再興されました。幕末大村益次郎が観音堂で兵学を教えました。

⑧大導寺(大道寺)

大内義長がトルレスに与えたという大道寺は、日本最初のキリスト教教会として知られます。サビエル記念公園付近が推定地とされましたが、異説もあります。

⑨大殿小路

「大殿」は大内氏館のこと。龍福寺門前の通りで今の大殿大路。

5月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土					
4/30	1	2	3	4	5	6					
端午deさんぽ-5/13	和裁	型染①	トール	レザー①		竹細工					
7	8	9	10	11	12	13					
竹細工	型染	和裁	陶芸A	トール	陶芸A	竹細工	レザー③	パッチ②	陶芸B	大内塗	着付
竹細工	型染②	和裁		パッチ①	和裁	手織	大内塗	鷺流	鷺流		
14	15	16	17	18	19	20					
こども茶の湯	和裁			レザー①	手織	鷺流					
	和裁	型染③	トール	パッチ③	和裁	鷺流	竹細工				
21	22	23	24	25	26	27					
竹細工	型染	和裁	トール	竹細工	レザー②	レザー③	大内塗	着付			
竹細工	型染④	和裁		染色	パッチ①	和裁	パッチ②	手織	大内塗	鷺流	鷺流
28	29	30	31	6/1	2	3					
陶芸絵付け体験											
そば打ち体験	和裁										
こども茶の湯	和裁	型染④	パッチ③								

教室（初心者向け）・体験のご案内

トールペインティング&メタルエンボッシングアート教室

カトラリーケース、フォトフレーム、ペンケース等を作ります。
 日 時：5月～10月の原則第2・4火曜日
 （全10回・8月は休み）、10:00～12:00
 定 員：20名（先着順）
 教材費：8,000円



型染教室

べんがらで七福神やこいのぼりのタペストリーを作ります。
 日 時：5月～11月の原則第2・4月曜日
 （全10回・8月は休み）、10:00～12:00
 定 員：15名（先着順）
 教材費：7,000円



鷺流狂言教室

山口の伝統芸能である「鷺流狂言」を学びます。
 日 時：5月～7月の毎週土曜日
 （全8回）、17:00～19:00
 定 員：15名（先着順）
 受講料：無料



お魚料理教室

お魚を使った料理を作り試食します。
 日 時：火曜コース：6月6日・13日
 水曜コース：6月7日・14日
 いずれも9:30～12:30
 定 員：各コース12名（先着順）
 材料費：1,000円



陶芸絵付け体験

素焼きの皿に絵付けをします。
 日 時：5月28日（日）14時～16時
 定 員：先着20名（小学生以下は要保護者同伴）
 体験料：1皿500円（1人2枚まで）



そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り
 日 時：毎月最終週、5月は28日（日）
 13:30～16:00
 定 員：14名（抽選にて選定）
 体験料：1,000円（材料費含む）



随時受付（お魚料理教室と陶芸絵付け体験は5月18日（木）から、そば打ち体験受付は5月20日（土）まで）

ほたる祭りを開催します

一の坂川一帯でのホタル飛翔の時期、「ほたる観賞 Week!」（6/1～6/7）に併せて6月3日（土）ほたる祭りを開催します。伝承センター会場では、大殿小児童による作品展示、ランプシェードの展示、陶芸品のチャリティー販売、各教室の作品展示・販売、お茶席などを催します。

今年は蛍かごワークショップや蛍かごランタンの展示も行われます。

センターホームページでは、一の坂川のゲンジボタルの発生状況を随時お知らせする予定ですのて、おでかけの際の参考にご利用ください。

サイクルスタンドが設置されました

観光客にサイクリングを楽しみながら足を運んでいただけるよう、市内15箇所にサイクルスタンドが設置されました。伝承センターでもご利用いただけます。



山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12
 TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877
 E-mail y-densho@c-able.ne.jp
 URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間
 9:00～17:00
 入場料 無料